

第3次新潟市食育推進計画 数値指標一覧

資料1

No.	指 標	対 象	集計方法等	策定時	実 績					出展・調査時期	目標値 令和3年度	コメント・次年度に向けた 対策等	所管課
					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
1 えらぶ													
1	「食(食事や食習慣)」に関心を持っている市民の割合	20歳以上	「関心がある」 「どちらかと言えば関心がある」	83.8%	83.1%	78.7% ▼	-	-	「食育・健康づくりに 関する市民アンケート 調査」(H30年12月)	90.0%		食と花の推進課	
2	生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や、減塩、野菜の摂取などに気をつけた食生活を実践している市民の割合	20歳以上	「いつも気をつけて実践している」 「気をつけて実践している」	62.4%	63.2%	65.3% △	-	-		75.0%		食と花の推進課 健康増進課	
3	身近な場所でとれた食材を選ぶ市民の割合	20歳以上	「いつも選ぶようにしている」 「なるべく選ぶようにしている」	74.8%	73.5%	77.0% △	-	-		80.0%		食と花の推進課	
4	食べ物を無駄にしないように行動している市民の割合	20歳以上	何らかの行動をしている	84.8%	83.7%	83.5% ▼	-	-		90.0%		食と花の推進課	
5	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる市民の割合	20歳以上	「いつも判断している」 「判断している」	63.3%	65.2%	69.3%	75.7% △	-	「第46回市政世論調査」 (令和元年7月)	80.0%	指標の評価に関する調査未実施。	食の安全推進課	
		20歳代・30歳代		53.4%	58.9%	63.9%	65.7% ◎	-		65.0%			
2 つくる													
6	学校給食における地場産物を使用する割合 (食材数ベース)	市内産	-	16.6%	16.0%	15.6%	15.4%	14.7% ▼	「地場農林水産物の 年間使用食品数調査」 (R2年6月～R3年3月)	16.0%	農林水産部や区の協力を得て、市内産物の使用を推進したが、食材料費の値上げ等により使用率が思うように伸びなかった。引き続き使用の拡大に努める。	保健給食課	
		<参考>県内産	-	31.3%	31.0%	30.3%	31.2%	29.3%		-			
7	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	82.0%	79.5%	77.9% ▼	-	-	「食育・健康づくりに 関する市民アンケート 調査」(H30年12月)	85.0%		食と花の推進課 健康増進課 保健給食課	
8	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを受け継いでいる市民の割合	20歳以上	「受け継いでいる」	54.7%	53.5%	52.6% ▼	-	-		70.0%			
		<参考>受け継ぎ、伝えている	「受け継いでいる」 かつ「伝えている」	37.5%	34.5%	-	-	-		-			
		20歳代・30歳代	「受け継いでいる」	48.7%	48.1%	45.9% ▼	-	-	60.0%				
9	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	200回	217回	137回 ▼	-	-	R1年3月	200回	令和元年度より派遣制度から紹介制度へ変更。	食と花の推進課	
10	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数 (主催料理教室・団体体験プログラム・味覚体験等)	実施回数	-	173回	191回	211回	230回	271回 ◎	R3年3月	200回		食育・花育センター	
3 たべる													
11	主食・主菜・副菜のそろった食事をしている市民の割合	20歳以上	1日2回以上	67.1%	66.5%	68.8%	78.5%	79.1% △	「新潟市民の健康づくりに 関する調査」 (R2年9月)	80.0%	引き続き、広報等による普及・啓発を図る。	食と花の推進課 健康増進課	
		20歳代・30歳代		49.5%	52.4%	54.1%	65.6%	65.4% △		70.0%			
12	ゆっくりよく噛んで味わって食べる市民の割合	20歳以上	「ゆっくりよく噛んで食べている」 「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」	51.6%	54.8%	56.7% ◎	-	-	「食育・健康づくりに 関する市民アンケート 調査」(H30年12月)	55.0%		食と花の推進課 健康増進課	
13	朝食を欠食する市民の割合	20歳代・30歳代	「ほとんど食べない」 「週に1～2回食べる」	19.5%	21.2%	18.6%	25.0%	21.1% ▼	「新潟市民の健康づくりに 関する調査」 (R2年9月)	15.0%以下	引き続き、広報等による普及・啓発を図る。	食と花の推進課 健康増進課	
		小・中学生	学校へ行く前に朝食をとるか 「とらないことが多い」 「全く、ほとんどとらない」	1.5%	1.6%	1.7%	1.6%	2.0% ▼	「新潟市生活・学習意識 調査」(R2年11月)	0.0%			
		<参考>小学生		1.1%	1.2%	1.2%	1.1%	1.4%		-			朝食を摂ることの大切さについて食育指導の中で啓発を図っていく。
	<参考>中学生	1.9%	1.9%	2.0%	2.4%	2.4%	-	-	-				
14	「共食」が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	85.6%	83.5%	84.1% ▼	-	-	「食育・健康づくりに 関する市民アンケート 調査」(H30年12月)	90.0%		食と花の推進課	
15	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	20歳以上	1週間の間に朝食または夕食を家族と一緒に食べた回数	9.9回	9.4回	9.6回 ▼	-	-		11回		食と花の推進課	
4 育てる													
16	農林漁業体験を経験した市民(世帯)の割合の増加	-	自身や家族の中に農林漁業体験に参加したことのある人が「いる」	27.2%	28.9%	27.6% △	-	-	「食育・健康づくりに 関する市民アンケート 調査」(H30年12月)	40.0%		食と花の推進課	
17	農業体験学習を実施している小学校の割合	市立小学校	-	100%	100%	100%	100%	100% ◎	R3年3月	100%		食と花の推進課 学校支援課	
18	食育の推進に関わるボランティアの数 (新潟市食育マスター)	食育マスター登録数	-	101人・団体	112人・団体	56人・団体	56人・団体	56人・団体 ▼	R3年3月	100人・団体		食と花の推進課	
		<参考>食生活改善推進委員	-	456人	476人	473人	459人	412人	R3年4月時点	-	計画的な養成講座の実施。	健康増進課	
再	19	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	200回	217回	137回 ▼	-	-	R1年3月	200回	令和元年度より派遣制度から紹介制度へ変更。	食と花の推進課
再	20	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数 (主催料理教室・団体体験プログラム・味覚体験等)	実施回数	-	173回	191回	211回	230回	271回 ◎	R3年3月	200回		食育・花育センター

※ 目標値は、①第2次計画の目標値を引継ぐ、②第3次基本計画の目標値、③策定時に根拠となる数値がない場合には意識:80%、実践:70%、④政策的指標は現状の実施回数を踏まえて設定。

※ ◎:目標達成 △:策定時と比べて改善傾向が見られるが未達成 ▼:策定時より低下